

2025 年 3 月 21 日

日本生命保険相互会社

地域の子どもたちのお阪・関西万博への招待について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、2025 年 大阪・関西万博（以下「万博」）に、地域の子どもたちを中心に約 3 万名を招待します。

当社グループはサステナビリティ経営の推進を通じた『誰もが、ずっと、安心して暮らせる社会』の実現を目指し、「人」「地域社会」「地球環境」の 3 つの重点領域で社会課題解決への貢献に取り組んでいます。とりわけ「人」「地域社会」においては、生命保険の提供、がん検診受診勧奨活動等のさまざまな取り組みを通じ、人々の健康に寄り添い、より長く、いきいきと暮らすことを後押ししています。

この度開催される万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げています。当社のサステナビリティ経営の理念とも通ずる「いのち」がテーマであることから、当社は、大阪府・市が主体となり運営する「大阪ヘルスケアパビリオン」に協賛しています。

（参考）2023 年 11 月 22 日付プレスリリース「大阪・関西万博「大阪ヘルスケアパビリオン」への出展プログラムの決定について」<https://www.nissay.co.jp/news/2023/pdf/20231122.pdf>

会場では世界の叡智が結集し、最先端の医療・ヘルスケアや各国で脈々と受け継がれる文化等が展示されます。また、万博における一連の活動は、「誰一人取り残さない」という誓いに裏打ちされた持続可能な方法で多様性と包括性のある社会を実現することを究極の目的とする国際連合の SDGs と合致するものです。

当社は、より多くの方に未来社会における学びの体験機会を提供したいとの想いのもと、当社関連財団等の協力を得て、近畿 2 府 4 県を中心に約 3 万名を万博に招待します。自治体等では包括連携協定の一環として地域の子どもたちや障がいのある方々に、学校法人およびその他団体では、万博のテーマに鑑み、医療に携わる学生や団体が支援する子どもたち等に入場チケットを活用いただきます。

今後も万博への出展をはじめとするさまざまな取り組みを通じて、『誰もが、ずっと、安心して暮らせる社会』の実現に貢献してまいります。

<招待者および招待人数>

	招待者	招待人数
自治体等	➤ 大阪市立小学校・義務教育学校に在籍する児童・保護者	6,020 名
	➤ 大阪府・市内の障がい福祉施設入所者・介助者	2,280 名
	➤ 「大阪ウィーク」※1をはじめ、大阪ヘルスケアパビリオン・各催事施設等で実施されるイベントに参加する子どもたちや障がいのある方々	3,408 名
	➤ 滋賀県「滋賀県子ども万博招待事業」に参加する高校生	2,500 名
	➤ 和歌山県「和歌山県大阪・関西万博教育旅行参加支援事業」に参加する高校生	1,500 名
	➤ 京都府「きょうとこどもの城づくり事業（ひとり親家庭のこどもの居場所づくり事業）」の受託団体を利用する子ども・保護者	882 名
	➤ 社会福祉法人 奈良県社会福祉協議会「奈良こども食堂ネットワーク」の会員のこども食堂を利用する子ども・保護者	1,820 名
	➤ 兵庫県内の児童養護施設に入所する子ども・引率者	1,080 名
学校法人	➤ 大阪府内・近郊の医療関係の大学・専門学校に通う学生	5,232 名
その他	➤ 一般社団法人 inochi 未来プロジェクトが万博会期中に開催する「inochi のペイフォワード Week」に参画する学生等	2,000 名
	➤ 一般財団法人 未来医療推進機構が万博会期中に開催するイベントに参画する学生等	500 名
	➤ 以下の団体の活動に参画・利用する方々 ・一般社団法人 若草プロジェクト TsunA が〜る ・一般社団法人 全国子どもの貧困・教育支援団体協議会 ・認定 NPO 法人 ノーベル	1,643 名
合計※2		29,322 名

※1 万博会期中の春・夏・秋の3期にわたり、万博会場内の催事施設において、大阪府・市が中心となつて、府内市町村と連携しながら、大阪の魅力を広く国内外に発信するイベント

※2 合計には、上記表に記載の他、当社支社の関係自治体等の主催イベントに参加された方々等を含む

以 上

2024-3660G 広報部